

日時

2007年3月4日(日)

午後1時開場、午後1時30分開演

会場

石川県立音楽堂 邦楽ホール

金沢駅東口となり(収容人員720名)

【入場無料】

今年の耳の日フェスタは、古典芸能でお楽しみいただきます。いつの世も変わらぬ人情の機微を、おかしみをこめて演じるドラマ、それが狂言。その狂言を、聴覚障害の垣根を越えて、誰にでも楽しめるように工夫されたのが、今回ご覧いただく手話狂言です。伝統芸能のさかんな金沢で、軽妙な笑いとともに、古きよき日本の芸能に触れ、また聴覚障害への理解を深めていただく機会になれば幸いです。さて、どちらさまも、ぜひお見逃しなく。

手話通訳ならびに要約筆記がつきます

# 耳の日フェスタ 2007

【プログラム】

舞台

午後  
1時35分メタボリック症候群のお話  
・寸劇・講演午後  
2時30分  
(90分間)

手話狂言

●佐渡狐 ●附子(ぶす)

出演:  
和泉流狂言師 三宅右近  
社会福祉法人トット基金 日本ろう者劇団

| 併催

書籍販売	午後0時～午後4時	1階ロビー
健康教育パネル展示		
手話体験コーナー	午後0時～午後1時20分	2階ロビー

©催事の内容及び開催時間は、変更になる場合があります。

手話狂言と  
日本ろう者劇団

障害の有無に関わらず誰もが楽しめるよう、視覚に重点を置いて、狂言特有の動きと、手話によるセリフ表現を研究して創りあげた、手話狂言。これを演じるのが、日本ろう者劇団です。黒柳徹子さんが主宰するトット基金の付帯劇団として、日本全国、海外で手話狂言を公演しています。昭和62年、芸術祭賞受賞。

黒柳さんからのメッセージ

とにかく楽しんでいただけることは絶対です。ぜひ、ご覧いただきたいと思います。そして面白かったら拍手をおねがいします。俳優たちの耳には届きませんが、必ず心には届くはずですので、どうぞよろしく願います。

社会福祉法人トット基金理事長  
黒柳 徹子共催: 日本耳鼻咽喉科学会 石川県地方部会  
石川県耳鼻咽喉科医会後援: 社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会  
石川県医師会  
金沢市  
金沢市教育委員会  
金沢・健康を守る市民の会

耳鼻咽喉科専門医による補聴器相談

●午前10時～午後0時30分 ●地階 交流ホール

お問い合わせは  
金沢市医師会まで  
076-263-6721